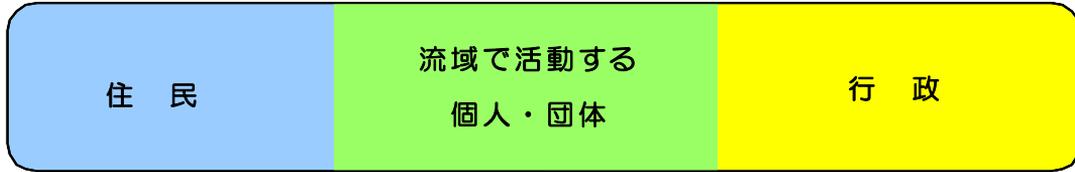


ステップ3 それぞれの役割分担をはっきりと示しました。

～遠賀川水系清流ルネッサンスⅡの実施主体～

『キラッキラ！ やすらぎ、きよらか遠賀川』を実現するために…



- ◆ 住 民 : 一人一人が自分の生活の中で水環境改善に向けてとります。
(個人としてのとりくみ)
- ◆ 流域で活動する個人・団体 : 個人や団体が流域全体や遠賀川のために連携してとります。例えば川の清掃や植樹活動などのイベントに参加する、または河川愛護活動や啓発活動を行うことなどです。
(公(おおやけ)としてのとりくみ)
- ◆ 行 政 : 流域の市町村、県、国(河川管理者)が水環境改善に向けてとります。
(官としてのとりくみ)

※遠賀川水系清流ルネッサンスⅡは、**流域の視点**をもった取り組みを重視します。

※より多くの住民が個人としての取り組みに加えて、**公(おおやけ)としての取り組み**
＝流域で活動する個人・団体としての役割を担うことが望まれます。

<公(おおやけ)のとりくみの例>



植樹活動



環境学習や体験活動



流域や河川の清掃活動